

令和元年7月30日
第103回生涯学習分科会
資料3



第103回 中央教育審議会生涯学習分科会

2019年7月30日（火）9:30-11:30

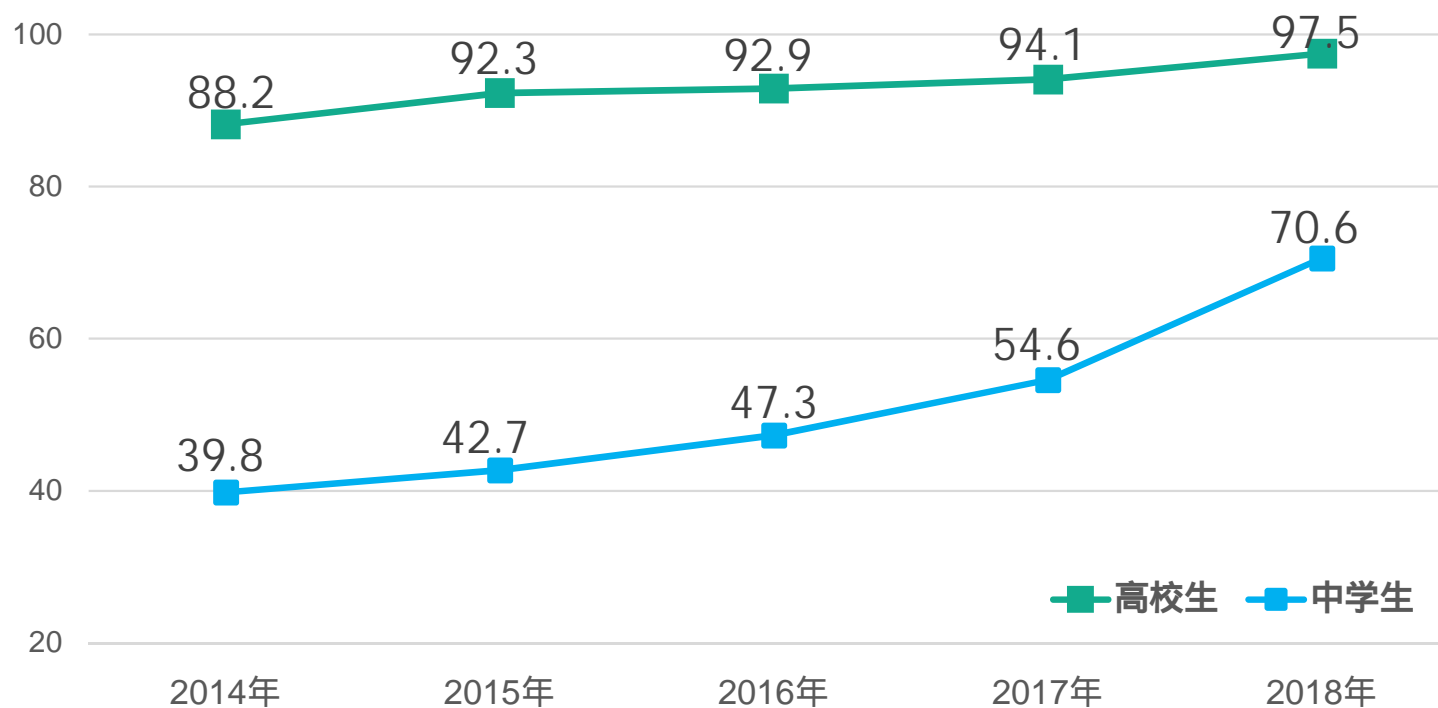
認定特定非営利活動法人カタリバ 代表理事 今村久美

思春期世代のスマートフォン利用状況

スマートフォンを使ってインターネットにふれている

中学生は **70.6%** 高校生は **97.5%**

青少年のスマートフォンでのインターネット利用状況



出典：平成31年2月 内閣府/平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果(速報)

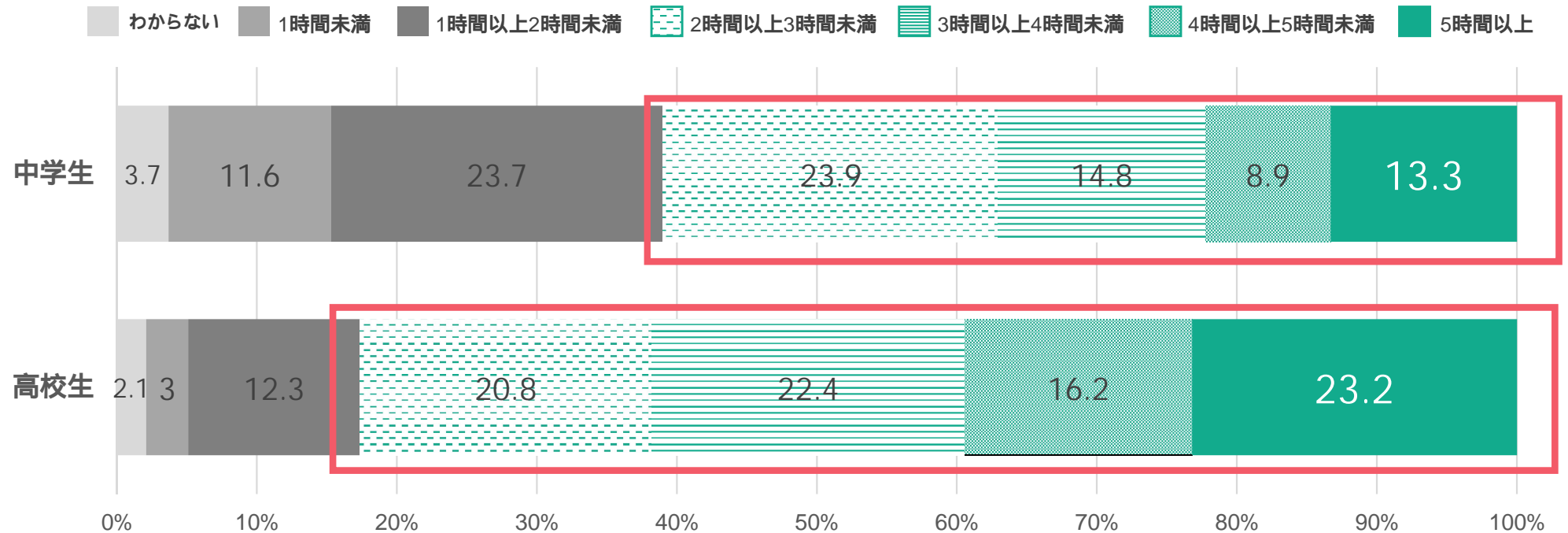
思春期世代のスマートフォン利用時間

インターネットを利用する1日の平均利用時間は、

中学生は163.9分、高校生は217.2分、

半数以上が2時間以上利用し、高校生では4時間以上利用が39.4%もいる

青少年のインターネット利用時間（利用機器合計/平均1日あたり）

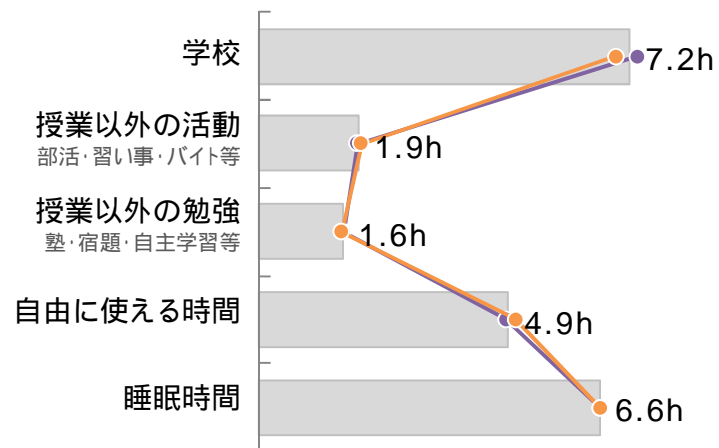


出典：平成31年2月 内閣府/平成30年度 青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果(速報)

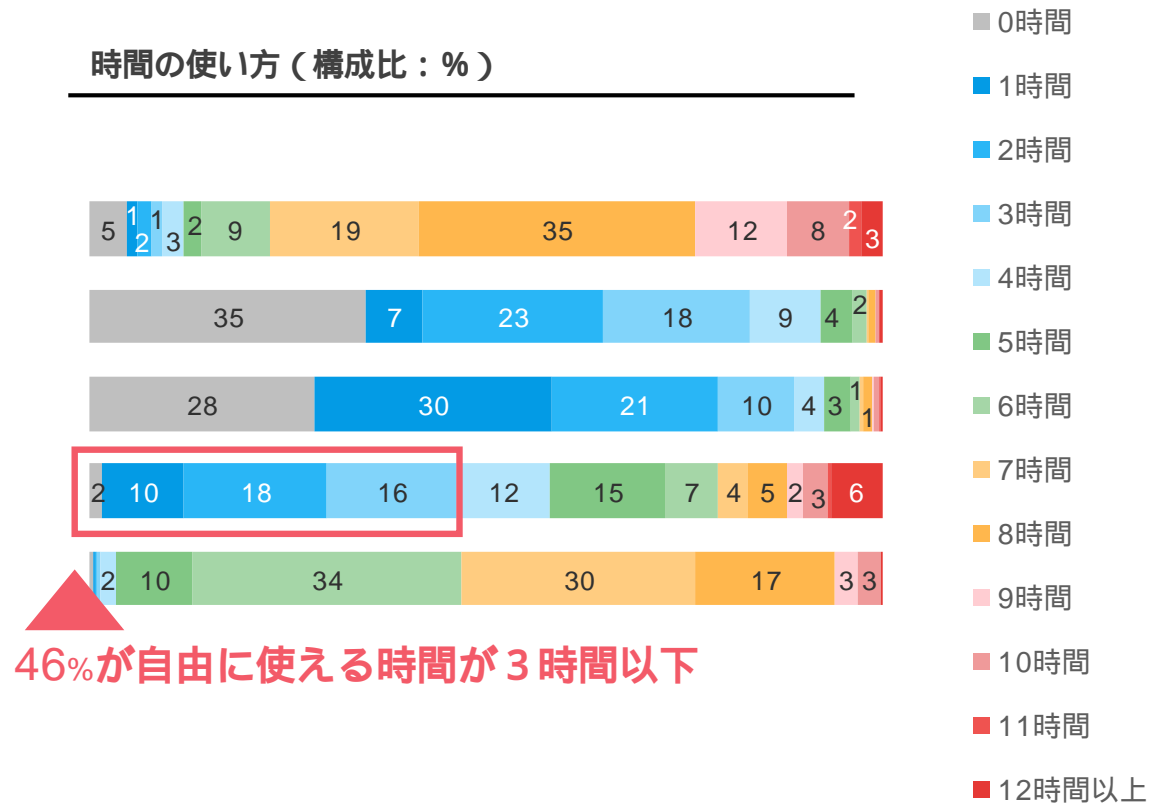
思春期世代の可処分時間

1日(平日)のうち自由に使える時間は平均で4.9時間、
3時間以下が約半数を占めており、
 自由な時間の大半をインターネット利用に費やしている

時間の使い方 (平均時間 : h)



時間の使い方 (構成比 : %)



出典 | マクロミル / 認定NPO法人カタリバ共同実施 思春期の実態把握調査2018

思春期世代のコミュニティの狭さ

家族以外のリアルコミュニティは同じ学校（だった）の同級生がほとんどで
 地域の知り合いと交流があるのは16.2%のみ、
 一方で約半数がネット上（SNS等）で知り合った友人がいる

家族以外との交流実態

		交流あり・計	よく直接会って話をする	自分の悩み事の相談をする	相手の悩み事の相談を受ける	SNSやメールでメッセージのやりとりをする	SNS上で近況を把握している	電話で話をする	その他	まったく交流はない/連絡をとりあっていない	この関係性の人はいない
(n=824)											
同世代	小学校・中学校の同級生、友人	76%	30%	17%	16%	53%	34%	17%	1%	19%	5%
	現在の学校の同級生、友人	85%	65%	27%	30%	62%	36%	27%	0%	5%	10%
	習い事・塾・予備校が一緒の友人	21%	8%	2%	2%	11%	7%	3%	0%	15%	65%
	アルバイトが一緒の友人	16%	7%	3%	2%	9%	4%	3%	0%	10%	74%
	ボランティアが一緒の友人	10%	4%	2%	1%	4%	3%	2%	0%	4%	86%
	ネット（SNSなど）上で知り合った友人	48%	5%	8%	8%	36%	27%	9%	0%	6%	45%
自分より上の世代	小学校・中学校の先生	27%	8%	5%	1%	12%	6%	2%	2%	73%	0%
	現在の学校の先生	41%	28%	12%	1%	7%	2%	3%	1%	52%	7%
	習い事・塾・予備校の先生	18%	11%	5%	1%	5%	2%	1%	0%	16%	67%
	アルバイト先の知り合い	15%	6%	2%	1%	7%	3%	2%	0%	13%	73%
	ボランティアの知り合い	7%	3%	2%	1%	3%	2%	1%	0%	6%	87%
	その他 地域の知り合い	16%	9%	2%	1%	3%	2%	2%	1%	21%	63%
	ネット（SNSなど）上で知り合った人	44%	4%	6%	5%	29%	22%	7%	0%	8%	49%

教員も地域と連携した活動機会をつくりたいと考えている

38%の高校教員が“地域に出ていくなどの学校外の活動”に取り組みたいと考えているが、できない理由は「時間がない60%」「やり方が分からない25%」「予算がない24%」

<高校教員調査 生徒への対応の理想と現実のギャップ>

出典 | マクロミル / 認定NPO法人カタリバ共同実施 思春期の実態把握調査2018

理想と現実のギャップ

理想とギャップがある理由

相談に乗る・計	現在 行っている	今は出来 ていないが もっと行いたい	n=	出来ない理由										
				時間がない	先輩教員 や上司の 許可が出 ない	他の教員・ スタッフに疎 まれそう	予算がおり ない・おりな さそう	やり方がわ からない	生徒との関 係性がよく ない	生徒に求 められてい る対応なの か自信がな い	生徒の保 護者の理 解が得られ ない・得ら れなさそう	差別だと思 われたくない	その他	特にな い・わ からない
相談に乗る・計	96%	52%	(356)	55%	8%	11%	7%	22%	7%	42%	21%	14%	5%	14%
同級生、友人との人間関係について	60%	16%	(110)	46%	4%	5%	1%	15%	8%	38%	10%	13%	4%	13%
恋愛について	19%	8%	(55)	33%	8%	11%	6%	10%	8%	37%	8%	9%	6%	11%
両親、家族について	33%	13%	(88)	45%	9%	8%	4%	16%	6%	32%	35%	3%	3%	9%
いじめについて	35%	13%	(91)	41%	4%	9%	0%	23%	8%	44%	10%	4%	4%	19%
成績、能力について	80%	22%	(154)	64%	6%	10%	7%	13%	4%	23%	8%	4%	4%	9%
進路、将来について	85%	25%	(170)	53%	4%	6%	2%	15%	4%	27%	13%	2%	5%	14%
身体的特徴（コンプレックスなど）について	18%	9%	(62)	39%	7%	5%	7%	22%	4%	38%	20%	23%	6%	4%
健康状態について	35%	9%	(63)	46%	6%	6%	1%	13%	3%	33%	14%	7%	5%	9%
漠然と感じる生きづらさや息苦しさについて	30%	19%	(130)	45%	2%	6%	3%	29%	7%	36%	11%	5%	4%	8%
その他の相談にのる	1%	0%	(2)	60%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	0%	0%	0%	0%
決まった授業以外で勉強をサポートする	42%	23%	(156)	73%	4%	14%	9%	9%	1%	18%	2%	7%	3%	6%
地域に出ていくなど、学校外の活動機会をつくる・サポートする	16%	22%	(153)	60%	12%	13%	24%	25%	2%	18%	8%	4%	3%	9%

38%が“地域に出ていくなどの学校外の活動”に取り組みたいと考えている

保護者も学校外の活動で様々な体験をしてほしいと思っている

89%の保護者も様々な体験にチャレンジしてほしいと思っている

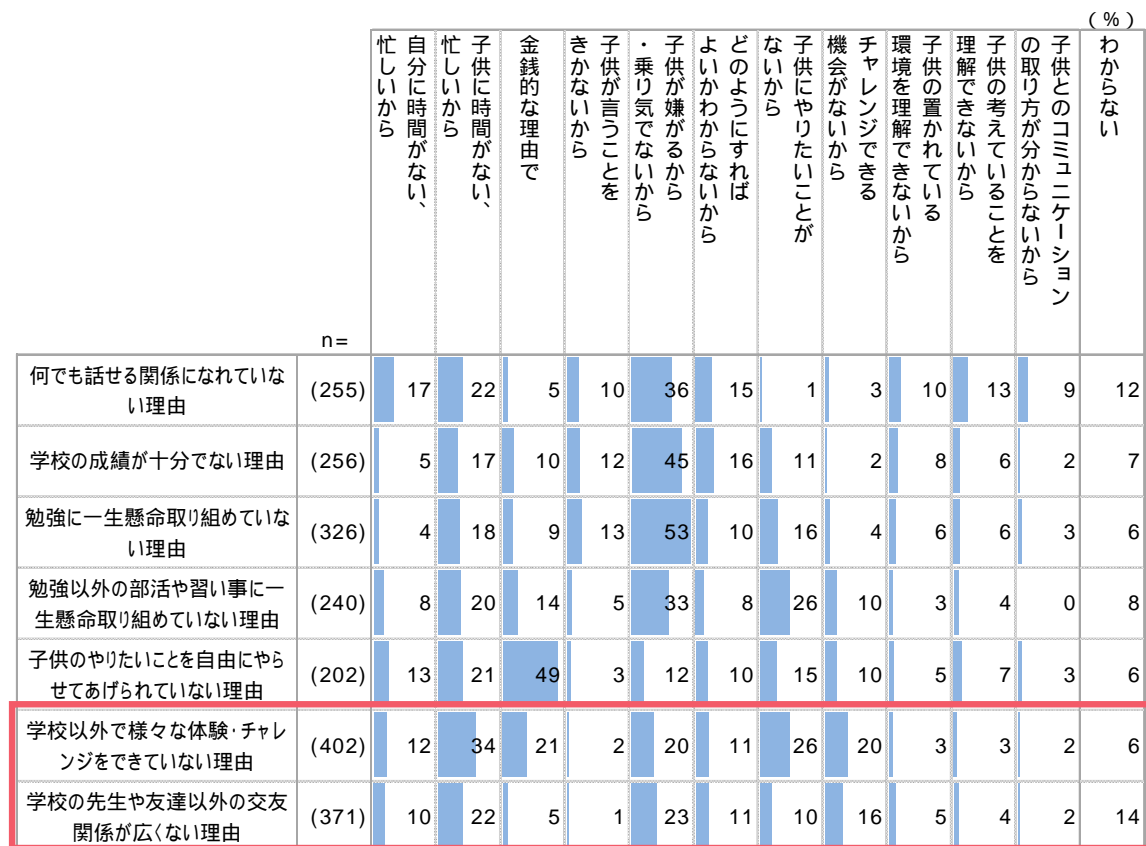
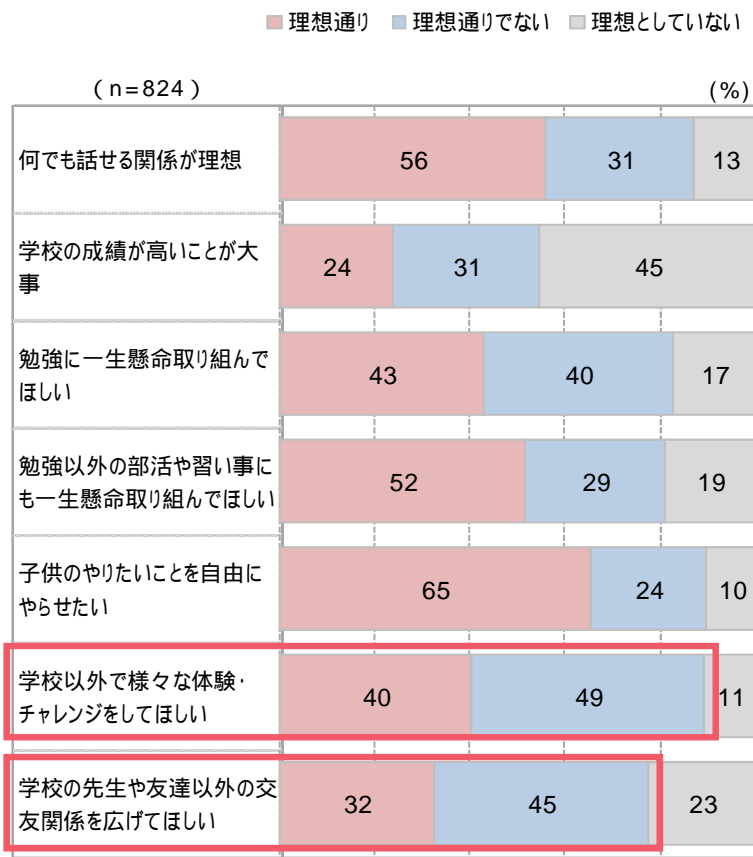
できない理由は「子どもの時間がない34%」、「子どもにやりたいことがない26%」

< 高校生の保護者調査 子育ての理想と現実のギャップ >

出典 | マクロミル / 認定NPO法人カタリバ共同実施 思春期の実態把握調査2018

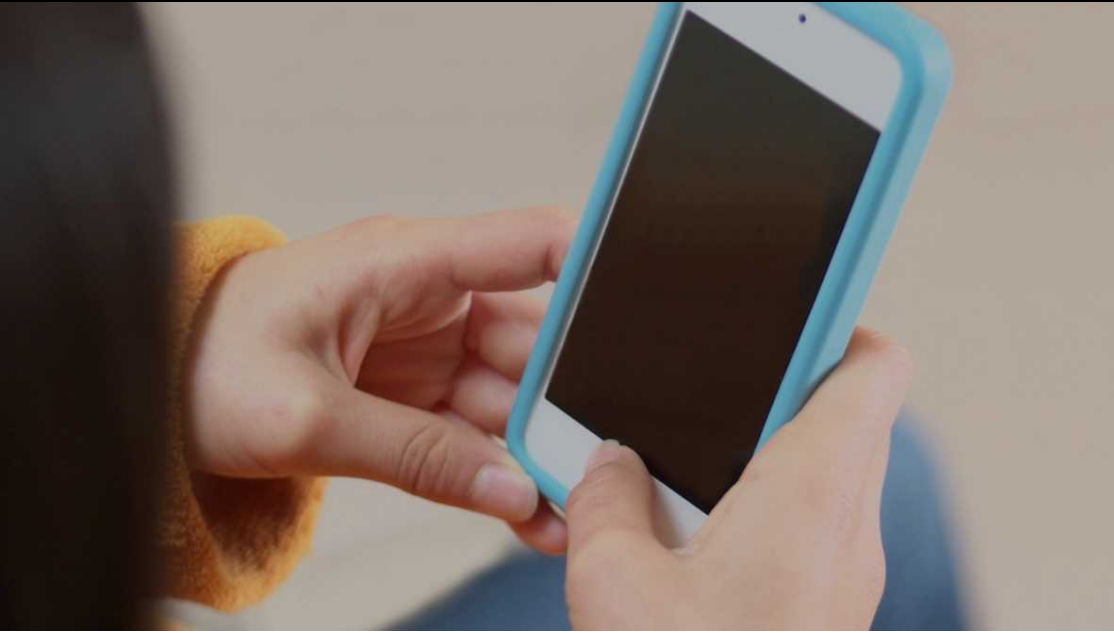
理想と現実のギャップ

理想とギャップがある理由



89%が様々な体験にチャレンジしてほしい、77%が多様な交友関係を広げてほしいと思っている

ネットと教室に閉じた思春期世代



外の世界に誘いだす社会教育が重要

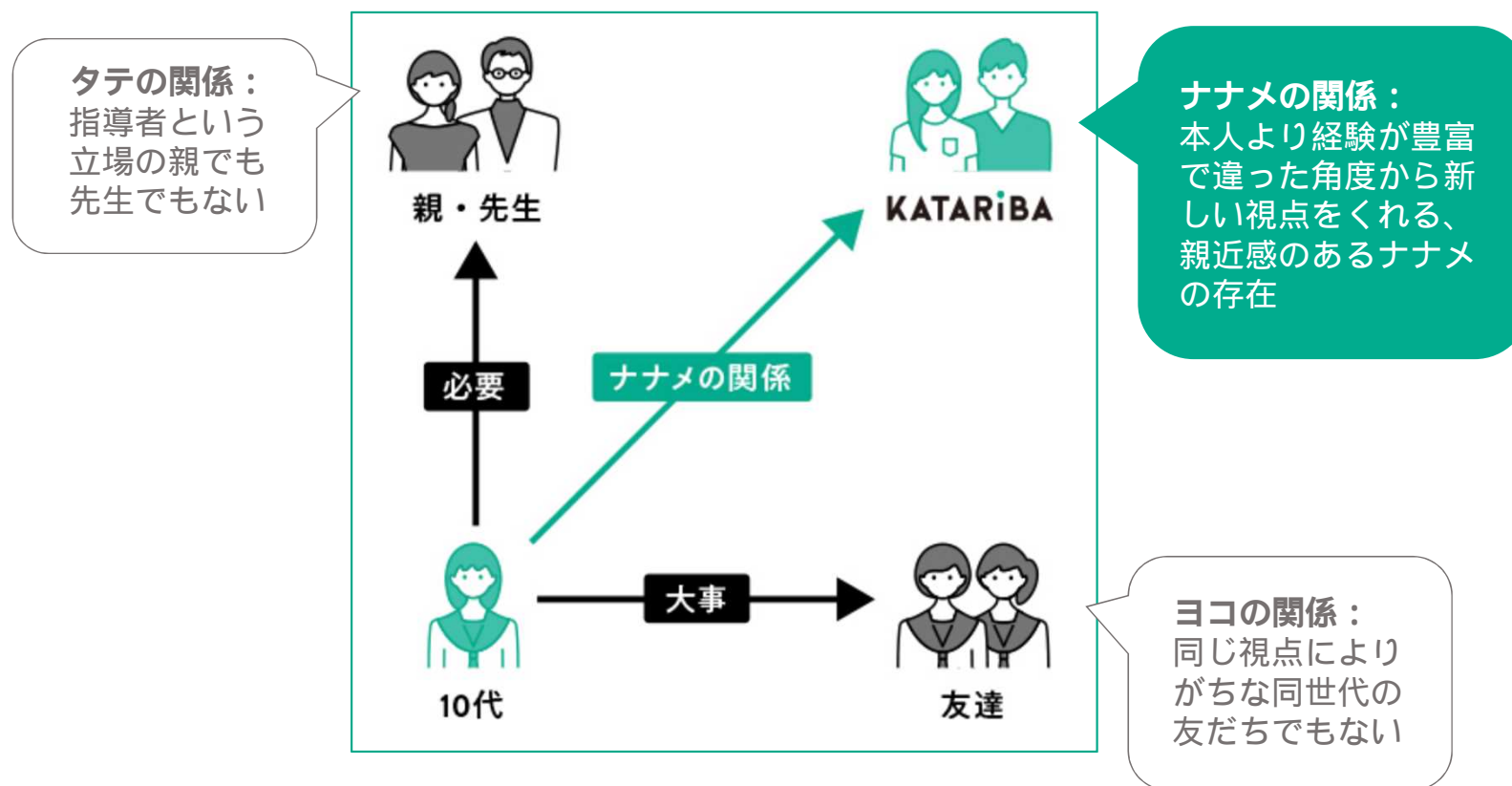
ナナメの関係と出会う社会教育

家族と先生と友だちという閉じたコミュニティで日常を過ごす思春期世代に、
違った角度から新しい視点をくれる「ナナメの関係」が意欲と創造性を引き出す

指導者という「タテの関係」にある親でも先生でもない。

同じ視点に寄りがちな「ヨコの関係」にある同世代の友だちでもない。

本人よりも経験が豊富で違った角度から新しい視点をくれる、親近感のある少し年上の先輩や大人という「ナナメの関係」だから話せる本音や、生まれる憧れが、10代の意欲と創造性を引き出す。



ナナメの関係を届けるNPOカタリバの活動

「ナナメの関係」を3つの活動パターンで全国に届けるカタリバ

Pattern 1. 地域に10代の新しい居場所をつくる

塾でも児童館でも公民館とも違う、10代が放課後を中心に通ってくる居場所をつくり、日常的にナナメの関係を届ける

#コラボ・スクール 被災地の放課後学校

- ① 岩手県大槌町 大槌臨学舎
- ② 宮城県女川町 女川向学館
- ③ 福島県広野町 双葉みらいラボ
- ⑧ 熊本県益城町 ましき夢創塾

#ユースセンター 中高生の秘密基地

- ④ 東京都文京区 b-lab

#ラーニングセンター 困難を抱える10代の安全基地

- ⑤ 東京都足立区 アダチベースcentral
- ⑥ 東京都足立区 アダチベースnorth
- ⑦ 島根県雲南市 おんせんキャンパス

Pattern 2. 学校や地域にプログラムを届ける

学校や地域で行われる授業やイベントで、ナナメの関係を軸にした10代の心に火を灯すプログラムを届ける

#出張授業カタリ場 心に火を灯す授業

#全国高校生マイプロジェクト 高校生主体のプロジェクト活動

40以上の団体・高校と連携し全国各地で実施

Pattern 3. 高校や行政の中に入り学校と社会をつなぐ

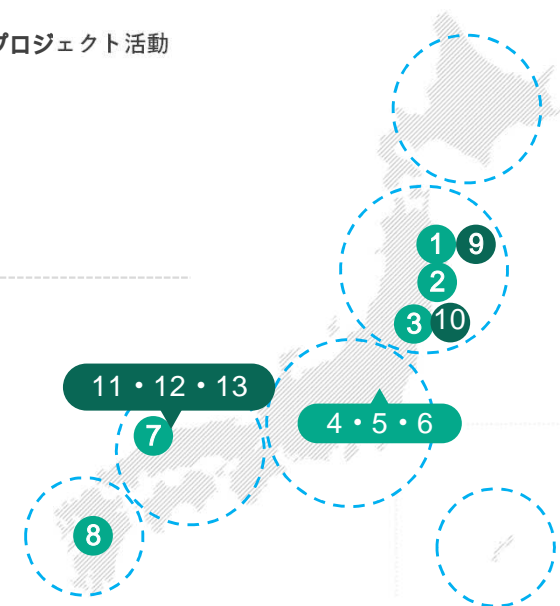
高校・行政の中にスタッフが常駐し、先生や教育委員会のサポートをしながら学校を社会に開き地域資源をナナメの関係の担い手に転換する

#教育行政支援

- ⑨ 岩手県大槌町教育委員会
- ⑬ 島根県益田市教育委員会

#高校支援

- ⑩ 福島県立ふたば未来学園高校
- ⑪ 島根県立三刀屋高校
- ⑫ 島根県立大東高校



対話を軸にした地域の人づくり

島根県益田市の 社会教育の取り組み

益田に
いることを

誇りに
思っ
て
ほしい

社会教育によって人生が変わるきっかけを得た

マイプロジェクトに 取り組んだ高校生

